

第3学年 学力向上のための学習指導略案（算数科）

日 時 平成30年6月13日（水）第6校時
 場 所 越知小学校 3年教室
 対象学級 3年 30名
 指 導 者

1. 単元名 「大きい数の計算を考えよう」（東京書籍 3年）

2. 単元の目標

○3～4位数の加減法の筆算について理解し、それを適切に用いる能力を伸ばす。

3. 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形に ついての技能	数量や図形についての 知識・理解
数の仕組みに着目したり既習の筆算の仕方を活用したりして、3～4位数の加減法の筆算の仕方を考えようとしている。	3～4位数の加減法の筆算の仕方を、2～3位数の場合を基に類推して、図や式などを用いて表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。 (A(2)ウ)	3～4位数の加減計算を筆算の手順を基にして、計算が確実にできている。(A(2)イ)	3～4位数の加減計算は、2位数などの基本的な計算を基にしてできていることを理解し、それらの筆算の仕方について理解している。(A(2)ア)

4. 指導と評価の計画（全9時間 本時 4／9）

関：算数への関心・意欲・態度

考：数学的な考え方

技：数量や図形についての技能

知：数量や図形についての知識・理解

次	時間	学習内容	評価				
			関	考	技	知	
1	1	○くり上がりなし、一の位または十の位がくり上がる3位数+3位数の筆算の仕方を理解する。	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> 3位数+3位数の筆算の仕方を、既習の筆算を基に考えようとしている。 [観察・ノート] 3位数の加法の筆算の仕方を2位数の加法の筆算の仕方を基に図や式で説明している。 [ノート・発言]
	2	・百の位でくり上がる3位数+3位数の筆算の仕方を理解する。		○		◎	<ul style="list-style-type: none"> 3位数の加法の筆算の仕方を2位数の加法の筆算の仕方を基に図や式で説明している。 [ノート・発言] 筆算形式による3位数の加法計算ができている。 [ノート・発言]
2	3	・くり下がりなし、一の位または十の位がくり下がる3位数-3位数の筆算の仕方を理解する。	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> 3位数-3位数の筆算の仕方を、既習の筆算を基に考えようとしている。 [観察・ノート] 3位数の減法の筆算の仕方を3位数の加法や2位数どうしの減法の筆算の仕方を基に図や式で説明している。 [ノート・発言]

4	4	・百の位からくり下げる3位数-3位数の筆算の仕方を理解する。		◎	○	・3位数の減法の筆算の仕方を3位数の加法や2位数どうしの減法の筆算の仕方を基に図や式を使って説明できる。 〔ノート・発言〕 ・筆算形式による3位数の減法計算ができる。 〔ノート・発言〕
	5	・1000-3位数の筆算の仕方を理解する。	○		◎	・1000-3位数の筆算について生活の場面で用いようとしている。 〔ノート・発言〕 ・1000-3位数の筆算ができています。 〔観察・ノート〕
3	6	・4位数を含む加減計算の仕方を理解し、その計算の仕方をまとめる。		○		・4位数±4位数の筆算の仕方を3位数の場合を基にして一般化してまとめている。 〔ノート・発言〕 ◎ ・桁に関係なく、加減法の筆算の仕組みを理解している。〔ノート・発言〕
	7	・4位数±4位数の計算の仕方を確実に身につける。			◎	・4位数±4位数などの計算が確実にできる。 〔ノート・発言〕
4	8	・「力をつけるもんだい」に取り組む。			◎	・学習内容を適用して7、問題を解決することができる。〔観察・ノート〕
	9	・「しあげのもんだい」に取り組む。	○			◎ ・3～4位数の筆算の仕方を、既習の筆算を基に考えようとしている。 〔観察・ノート〕 ・基本的な学習内容を身につけている。 〔観察・ノート〕

5. 本時の構想

(1) 目標

- ・くり下がりのある3位数-3位数の筆算の仕方を理解し、その計算を説明することができる。

(2) 働かせたい教科の見方・考え方

- ・百の位からくり下げる筆算の仕方を、既習の3位数の減法の計算の仕方を基にして考える。

(3) 本時の評価規準

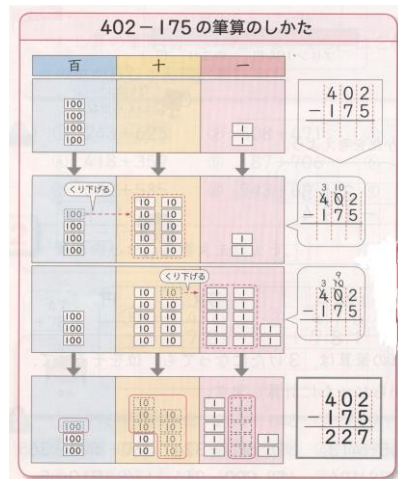
- ・3位数の減法の筆算の仕方を3位数の加法や2位数どうしの減法の筆算の仕方を基に図や式を使って説明できる。(ノート・発言) (考)
- ・筆算形式による3位数の減法計算ができる。(ノート・発言) (知)

(4) 研究協議の視点

- 3位数の減法の筆算の仕方について、理解に深まりは見られたか。

(5) 展開

学習過程	学習活動	○教師の働きかけ ◇評価 (方法)
導入 (2分)	1. 前時の振り返りをする。 ・前時のまとめ、振り返りをペアで伝え合いましよう。	
問題掲示 解決への見通し (3分)	2. 402-175の筆算のしかたを考えましょう ○気づいたことや、今までの学習とのちがいを発表しましょう。 ・十の位からくり下げることができない。 ・十の位が0になっている。	
課題設定 (2分)	3. 本時の課題を設定する。 ①十の位が0で一の位からくり下げることのできない筆算の仕方を図、式、言葉を使って説明しよう。	
自力解決 (8分)	シラバス:(一人学び(8分)・班学び(5分)・学び合い(14分)・まとめ(3分)・適応問題(2分)・振り返り(5分)) 言語わざ:「算数用語を使って説明する」 「式や図を使って説明する」 学習用語:「くり下げる」、「百の位」、「十の位」、「一の位」 4. 402-175の答えの求め方を考える。 ○402-175の答えの求め方を考えて下さい。 ・百の位からくり下げて計算する。	○児童の見通しを確認するためにグー、チョキ、パーで意思表示を行い、児童同士で見合うようにする。
班活動 (5分)	5. ノートを使って自分の考えを説明する。 ○402-175の求め方を数カードと筆算を使って説明しましょう。	○具体物として数カードや筆算を利用する。
集団解決 ・学び合い (14分)	6. 考えたことを説明する。 ○出てきた意見から気づいたこと、同じところやちがうところを発表して下さい。	・十の位からくり下げられない時には、百の位から順にくり下げていき、その時十の位が9になることに気を付けて計算すればよいことを伝える。 ◇3位数の減法の筆算の仕方を3位数の加法や2位数どうしの減法の筆算の仕方を基に図や式、言葉で説明している。 (ノート・発言)



<p>・考察</p>	<p>○402-175 の問題から十の位からくり下げられない筆算はどのようにとけばよいか考えられることを発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百の位からくり下げるとよい。 ・十の位は一の位に10くりさげているので、筆算で計算する時は9で計算する。 	
<p>まとめ (3分)</p>	<p>㊸十の位が0で一の位からくり下げることのできない筆算は、百の位からくり下げて計算する。</p>	
<p>振り返り (5分)</p>	<p>6. 各自で本時の学習を振り返り、ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったこと ・友達から学んだこと 	<p>◇筆算形式による3位数の減法計算ができています。 (ノート・発言)</p>
<p>適用問題 (2分)</p>	<p>7. 適用問題に取り組む 408-279=</p>	

6. 板書計画

<p>自力かいつペア学習 全体学習 考えつ まとめ ふりかえり</p>	<p>㊸ 十の位からくり下げることのできない筆算の仕方を数カードを使って考え説明しよう。</p> <p>㊹ 402-175の筆算のしかたを考えましょう</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">百</td> <td style="width: 33%;">十</td> <td style="width: 33%;">一</td> </tr> <tr> <td style="height: 60px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>まなボード</p>	百	十	一				<p>式 402 -175</p>	<p>こうさつ 十の位からくり下げることができないときは百の位からくり下げる。</p>
百	十	一								
<p>言語わざ キーワード</p>	<p>㊺ 気づいたところ・ちがうところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十の位からくり下げることができない。 ・十の位が0になっている。 			<p>㊸ 十の位からくり下げることのできない筆算は、百の位からくり下げて計算する。</p> <p>㊹</p>						